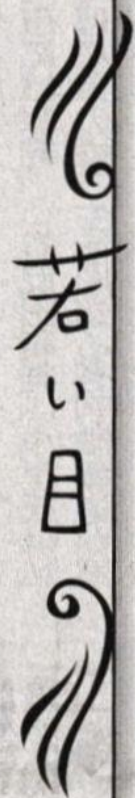


思いを伝える



鹿児島東高3年

向井 千恵

先日、小論文に取り組

んだ。課題は「過去の言

えなかつた経験と理由」

などについてで、中学時

代の吹奏楽部での出来事

を思い出した。夏祭り

演奏する曲を部員で話し

合っていて、私も言いた

い曲があったが、言えな

かった。

仮に言ったとしても、

「時代遅れ」「夏祭りに

ふさわしくない」など反

対の声が上がるのを恐

れ、自己保身に走ったの

だ。誰かが提案した曲を

否定から入る人はいない

と分かっていったが、言わ

ない方が円滑に話し合い

が進むとその時は考え

た。

しかし、今はそう思わ

ない。演奏したい曲を言

うべきだった。そしたら

その曲も候補に入り、選

択肢が増えた状態で話し

合い、より納得できる選

曲ができたかもしれない。

い。

やはり言葉は最良のコ

ミュニケーションの手段

であり、対話を深めるこ

とで状況はさらによいも

になるだろう。これから

は言葉を飲み込んだり、

うわべだけで語ったりす

るまい。感情や考えを自
分の言葉にして、他者と
のやり取りで話し合いの
質を高めていきたい。

(鹿児島市)